

前期課程

協力した野外活動

五年A組 立松 透晃



ぼくが、特に印象に残った活動は、ウォークラリーです。なぜ、印象に残ったかというのと、協力をたくさんしたからです。

道に迷ったときは、みんな「こっちじゃない？」と声をかけ合ったり、神社の問題の答えが分

からないときは「みんなで答えを探そう」と協力したりしました。



ジャストタイムを考えながら行動もしました。

ぼくは、人を待つのが苦手なので、自分のペースで勝手に行動しないことを意識しました。ぼくと友達の間でペースが合わなくても今回は待つことができました。人を見ながら歩くことに慣れていきたいです。ウォークラリーをする中で、自然に協力していることにも気付きました。

この経験で学んだ「協力」「人に合わせる」ことを、これからもたくさんしていきたいです。

よいことを見つけ大成功

六年B組 大橋 真綾



私は、修学旅行を通してみんなのよさや優しさに改めて気が付くことができました。

旅館では、みんながすれ違う人にびつくりするほど大きな声で挨拶をしていて、すごいと思いました。また、ご飯の時も「いただきます」や「ごちそうさまでした」を大きな声で言っていて、作ってくれた人が笑顔になり、お互い気持ちよかったですし、改めて挨拶は魔法のように人を笑顔にできると思いました。そして、車椅子の友





達の上り下りを五年生で学んだことを生かし、自然にサポートしてあげていた友達も見つけました。身の回りの準備や片付けの時も自分のことが終わったら、友達のことを手伝っている姿など友達の新しい良さに気が付きました。

友禅染では、お手本のように上手で色の使い方も上手くて作るのも早く、何回も作ったことがあるのではないかと思う友達もいました。色を濃くしたり、薄くしたりして工夫していました。友達の特



技を発見できてよかったです。旅館や体験だけで、こんなにも友達のよいところや優しさが発見できて他にもたくさんよいところや優しさがあると思うので、これからの学校生活でもどんどん見つけていきたいです。

後期課程

魅力ある学園のために

八年A組 栗本 朔弥

僕は後期生徒会役員として実行したいことが二つあります。

一つ目は、異学年交流を実施することです。コロナ禍で異学年交流が減っているので、コロナがおさまったら他の学年と楽しめるような企画を増やしていきたいです。そして、異学年同士のお互いの理解を深めていきたいです。

二つ目はアンケートをとり、学園生徒の意見を聞くことです。生徒の意見と生徒会の意見が合わさることで、一人一人が考える「よい学園」に一步でも近づくと思っているので、アンケートを実施したいです。

僕は生徒会三期目になるので、これまで以上に行動力を発揮して、学園生徒一人一人にとって魅力のある学園になるように精一杯取り組んでいきたいです。



自分でやりたい

八年A組 柘植 一輝

僕は後期生徒会役員として、選挙で示した公約を全て実施したいです。アンケートを実施するという公約では、学園生活の改善点や問題点を調べ、生徒会でどうすれば改善できるのかを話し合っ、学園全体で取り組んでいきたいです。

他にも早寝早起き週間という公約では、早寝早起きをすることで気分がすっきりして学園の雰囲気

がよくなり、生徒が楽しく学園生活を送ることができると思っています。公約は約束したからには、必ずやり遂げたいです。

僕は、全力を尽くして、生徒のみんなが楽しく学園生活を送れるような企画を考えたり、工夫をしたりしていきたいです。



飛島学園 12月の行事予定

6日(月)～8日(水)

個人面談・三者懇談
(8年生は9日(木)まで)

22日(水) 給食終了

23日(木) 終業式

24日(金)～1月6日(木) 冬季休業